3月下旬刊行予定

貴店番線印

冊

詩篇 音戯草誌（おとぎぞうし）

榎本了壱 著

ISBN978-4-88059-453-8 C0093 予価¥2000 四六判上製

而立書房

而立書房　3月下旬新刊のご案内（委託受注〆切 2/25）

文芸／サブカルチャー

詩篇 音戯草誌（おとぎぞうし）

榎本了壱（えのもと りょういち） 著

四六判上製144頁　本体価¥2000＋税　ISBN978-4-88059-453-8　C0093

鬼才・榎本了壱が、世界各地に散らばるお伽話を独自に解釈し、人智を超えた奇想宇宙として言語化、緻密に描き込んだイラストを添え、贅沢に仕上げた、60年ぶりの詩集。

「伽」とは主に「退屈を慰め」たり「看病」したりすることを意味するらしい。「もしもあなたが退屈していない人なら、この詩篇はなんとも意味のない、無用の草誌でしかないことを、謝っておきたい」（著者あとがきより）。

榎本了壱・著『幻燈記』（2021年小社刊、1600円）も好評発売中

人智を超えた奇想宇宙！
エドワード・ゴーリー、
シュヴァンクマイエルに通じる世界！

榎本了壱（えのもと・りょういち）

1947 年、東京生まれ。武蔵野美術大学卒業。
寺山修司の映画「書を捨てよ町へ出よう」のポスターデザイン、劇団・天井桟敷の美術、「季刊ＦＩＬＭ」「季刊地下演劇」の編集デザイン、「月刊ビックリハウス」を萩原朔美と創刊……美術・デザインから、映画・演劇・ダンス、出版・編集、詩・俳句など多岐の表現領域に関わる。
主な著書『春の画集』（新風舎）、『タタラ風の町』（頭手舎）、『つきはひがしに』（頭手舎）、『おくのほそ道・裏譚』（新風舎）、『榎本了壱のアイディア・ノート 脳業手技』（マドラ出版）、『東京モンスターランド』（晶文社）、『幻燈記』（而立書房）、『桃源記』（螺旋社）他。

ご注文は 而立書房 まで
FAX 03-3292-8782

http://www.jiritsushobo.co.jp